

会議記録要旨

会議名称	令和2年度健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会
日時	令和3年3月22日（月）午後6時～午後7時35分
場所	西棟8階 第9会議室
出席者	委員：植田、間野、高田、櫻井、芹澤、野田、杉尾、継 事務局：地域活性化担当部長、スポーツ振興課長、区民生活部副参事、 施設管理係長、事業係長
配付資料	資料1 健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会運営要綱、委員名簿 資料2 健康スポーツライフ杉並プラン 指標の推移等について 資料3 健康スポーツライフ杉並プラン 柱別の主な事業 資料4 健康スポーツライフ杉並プラン 進捗状況の調査 別添 すぎなみスポーツアカデミーリーフレット 「みんなの笑顔をスポーツで応援」 参考 杉並区基本構想検討部会第3部会（スポーツに関する議論の 中間まとめ 令和3年1月時点）
会議次第	1 挨拶 2 健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会の概要 3 平成30～33年度の計画に掲げた事業の取組状況 4 その他

1. 挨拶

地域活性化担当部長

2. 健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会の概要

資料1について事務局から説明し、今後の懇談会について、令和3年度は計画改定に取り組むため、委員構成や任期等を整理し、新たな懇談会としていくことについて、了解を得た。

3. 平成30～令和3年度の計画に掲げた事業の取組状況

資料2～4、参考資料について、事務局から報告後、委員からの意見交換を実施。

【主な意見】

- ・スポーツ始めキャンペーンは杉並らしい取組なので、今後も継続してほしい。
- ・アカデミー参加者の指導者やコーディネートの機会が減っている。仲介してくれる方に向けたメッセージも必要ではないか。
- ・テレワークの普及により在宅勤務が増えたことなどにより、ランニングや散

歩など運動への意識が高まったように思う。一方で、運動量が減少し、体調悪化につながるケースが見受けられる。

- ・スポーツボランティアが高齢化しているため、若返りを図ること、新しい人材の取り込みが課題である。
- ・中学校では部活動が再開できるようになったが、コロナ禍で子どもが体を動かす機会が減少している。
- ・多様性が求められる社会になってきているが、障害者は忘れられがちであると感じている。将来的には障害者に特化したものがなくなる社会になればよいと考えている。オリンピック・パラリンピックが「平和の祭典」であることを忘れずに、精神的な部分も伝わっていけばよいと思う。
- ・今後、オンラインでのヨガやリモートによるランニング等、人が密にならずに画面を通して行えるデジタルトランスフォーメーション（DX）によるスポーツも計画に取り入れていくべきではないか。
- ・子どもの運動部活動について、週末に限らず平日も地域でスポーツをする時代に向かっている。部活動では顧問のなり手がいない等の理由から指導者不足が課題となっており、スポーツ庁や経済産業省で民間活用の検討も進められている。新しい子どものスポーツ環境を用意していくことになるので、新しい時代の新しい技術、新しい需要に向かった計画づくりを進めてほしい。

4. その他

事務局から令和3年度の推進懇談会の予定について資料に基づき説明。